



お知らせ

役場人事異動

村では次のとおり職員的人事異動を行いました。

(課設置条例の改正を含む)

異動 (十月一日付) (内は旧所属)

○建設課長 草間 清作 (産業建設課長)

○産業課長 金内 武治 (産業建設課産業係長)

○種芋原保育所 小川 和 (竹沢保育所)

○竹沢保育所 星野 アヤ子 (種芋原保育所)

退職 (十月三十一日付)

○竹沢保育所 松田 絵美子

戸籍謄本の請求には『使用目的』を明らかに!

来る十二月一日から戸籍謄本の交付請求のしかたが改正されます。

改正の理由は、戸籍を不当に利用して、国民のプライバシーを侵害することのないようにすることにあります。

今後、他人の戸籍の謄本を請求するときは、「請求の事由」つまり何の目的に使用するかを具体的に示していただくこととなります。もし、その請求が不当な目的によるものであるときは、これに応じられないこととなります。

また、戸籍の閲覧は、できなくならず、郵便で請求する場合の手料は、必ず現金書留か、郵便局の定額小為替で納めてください。
【注意】
本人といつわたり、うその事

狩猟をする人々のために……

一、狩猟に出るときは、「狩猟免状」と「銃砲所持許可証」を携帯し「狩猟者記章」を見やすいところに付けることをお忘れなく。

二、新潟県では「キジ・ヤマドリ」の捕獲期間は十一月十五日から翌年一月十五日までとなっております。

三、狩猟ができる時間は日の出から日没までです。新聞等で

その時間をよく調べてから狩猟に出かけましょう。

四、狩猟免状は、狩猟期間が終つてから三十日以内に必ず返納してください。

○ 電灯線、電話線の付近では発砲しないでください。

○ 鉄砲は保管庫に保管してください。

第九回全日本総合錦鯉品評会実施要領

東京都大田区平和島六丁目 一番一号

泳ぐ宝石と賞されている錦鯉の全国品評会は九回目を迎え、ことしは次の日程により、全日本錦鯉振興会の主催により開催されます。

- 会期 一月十八日～二十四日まで
- 一般観覧 一月二十二日～二十三日
- 会場
- 申込期日 十二月二十日まで
- 出品料 一点につき二万円 (当日受付は手数料二千円加算)
- 入場整理券一十円
- 会場 くれしくは産業課へ

若い力を国の守りに

自位官募集中

来春高校卒業生の採用受付を行っております。志願手続等のお問い合わせは役場総務課へ

年末年始の休暇について

恒例により十二月二十九日から明年一月三日まで、年末年始の休暇として、役場、診療所、保育所の平常業務を休ませていただきます。戸籍関係の届出、または急を要するご用件があるときは、当直者にお申し出ください。
(総務課)

主な記事

- 村政功労者を表彰
- 第十六回錦鯉品評会から
- 飲酒運転防止
- 除雪にご協力を
- もっと木を植えよう
- 冬の交通事故防止
- 年金手帳を大切にしよう
- 錦鯉養殖技術研修会
- みんなで明るいお正月を

お地藏さんも冬ごもり



小川たけさん(種芋原)お地藏さんのお守りをして30年余になるといいます。種芋原から蓬平へぬける街道で悪疫を除き、旅立つ者の安全を守ってくれる20体、霜月に入ると、お地藏さんも寒がるうとわらのきものをきせてやります。親(姑)から引継いだ小川さん、一番悲しいことは最近三体が失せてしまったこと。心ない旅人が持ち去ったのか。白銀の冬はもうすぐそこまで来ています。

(10月5日撮影)

村の人口

-11月1日現在-

世帯数	964	男	2,006人
人口	4,003人	女	1,997人
出生	1人	死亡	1人
10月中の住民異動	(男1・女0)	転入	5人
	(男2・女3)	転出	15人
			(男8・女7)



村政功労者 表彰さる

永年勤続など10名



- 長谷川 辰太郎 (種学原)
- 樺澤 喜良 (〃)
- 齊藤 欣作 (大久保)
- 川上 喜二郎 (大久保)
- 星野 三代治 (下村)
- 藤井 正成 (橋木)
- 上田 忠治 (木籠)
- 小川 晴司 (小松倉)

村の功労者表彰式は例年文化の日にちなんで行われていたが、ことしも十一月三日役場の議場において村の発展に功績をのこされた次の方に記念品を添え表彰状が授与されました。

- 固定資産評価審査委員として十六年以上勤続されたかた。 関 和男 (梶金)
- 村の職員として二十五年以上勤続されたかた。 峰村 功 (虫亀)
- 村の消防団員として二十年以上勤続されたかた。 長谷川 辰太郎 (種学原)



除雪にご協力を！ 路上駐車をしないで…

雪とのたたかいは、毎年繰り返して行われておりますが今年もまた白魔の季節がやってきました。冬の道路確保は住民生活を直接左右する大きな問題であります。県も村もこれにこたえて、計画的に除雪、圧雪作業を実施します。機械力を駆使しての万全な体制も、住民の協力がなければ能力を発揮することが出来ません。毎年のことですが、この計画が円滑に行われるよう次のことがらを守るようご協力ください。

- 道路や車の交換場所に駐車しないでください。
- 路上駐車は除雪作業に支障を与えるばかりでなく除雪しても交通が「ストップ」したり、また、除雪が遅れたり、おおぜいの人たちが迷惑します。
- 屋根の雪は計画的に落し、車の運行を長時間さまたげないようにしてください。
- 道路沿いのイケス等には、目の表示をしてください。
- 自動車はわたくしたちの生活に大きな役割をもっており、雪国と云えども無雪時と同様の交通量が要求される今日、それだけに雪に對する意識も、あきらめるよりも克服と変化し、機械力にたよる傾向も年々強まっており、県も村も毎年の交通確保に全力をあげています。
- 車の使用者・雪捨て場になる土地所有者のみなさんの積極的なご協力をお願いします。

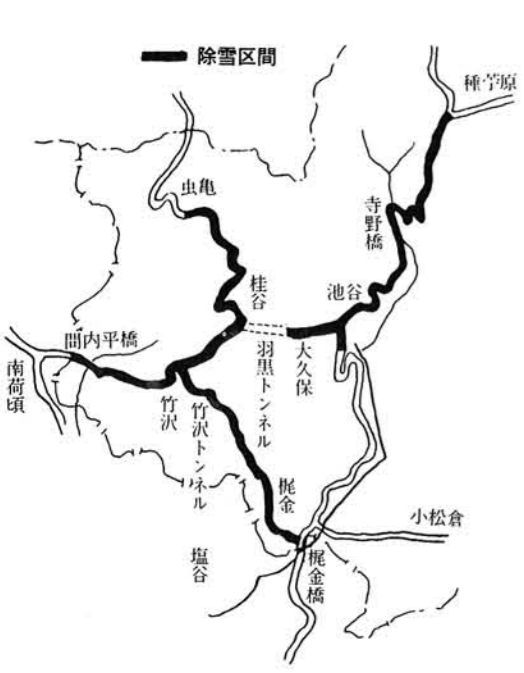
除雪に備えて整備完了 (11月19日撮影)

雪とのたたかいは、毎年繰り返して行われておりますが今年もまた白魔の季節がやってきました。冬の道路確保は住民生活を直接左右する大きな問題であります。県も村もこれにこたえて、計画的に除雪、圧雪作業を実施します。機械力を駆使しての万全な体制も、住民の協力がなければ能力を発揮することが出来ません。毎年のことですが、この計画が円滑に行われるよう次のことがらを守るようご協力ください。

ことしの除雪計画

路 線	区 間	備 考
県 道		
⑤小千谷栃尾線	間内平~桂谷間	第2種除雪路線
⑥柏崎高浜堀之内線	虫亀~梶金橋間	
⑦小千谷栃尾線	桂谷~種芋原間	
⑧池谷越後広瀬(T線)	民族史料館~池谷校	第3種除雪路線 (委託除雪区間)
⑨柏崎高浜堀之内線	虫亀~濁沢間	圧雪区間 (積雪が降雪を考慮しな村も除雪する)
⑩国道352号線	中道屋~学校間	
⑪池谷越後広瀬(T線)	池谷校~橋木籠入口	圧雪区間
村 道		
竹沢塩谷線	県道~白鬚神社	圧雪区間
虫亀間内平線	山中橋~間内平橋	
油夫山中線	油夫入口~山中橋	
間内平南荷頃線	村中橋~診療所	
山中竹沢線	村中橋~大久保	
梶金桂谷地線	県道~宇賀地	
南平宇賀中央線	県道~県道	
中野中虫亀線	新県道~新県道	
種芋原中央線	新県道~新県道	
虫亀間内平線	新県道~新県道	
村道風口線	新県道~新県道	
中野桂谷線	新県道~新県道	
その他31線		

県道(村内)除雪計画図



飲酒運転の防止は 地域ぐるみで…

飲酒運転は、昔からの飲酒の風習と車社会のひずみが原因と考えられます。このひずみをなくすことが即飲酒運転の防止につながります。

運転者の交通マナーのパロメーターが飲酒運転といわれる程です。飲酒運転の防止は、運転者の自覚だけではなくありません。家庭では家族の人々、職場では職員といった周囲の人々の理解と協力



県内における死亡事故は、十一パーセントと減少しております。ところが飲酒運転による死亡事故は逆に七・四パーセント増加しております。

がなければ達成されません。家庭、職場、地域から飲酒運転をなくす総ぐるみ運動を展開しましょう。

華やかな美を競って 入賞は八点

第16回錦鯉県品評会から

泳ぐ宝石と賞される錦鯉、この生産技術とその美を競う第十六回全国農業祭参加県品評会が、去る十月三十、三十一日の両日小出町の電源開発(株)小出集積地で開催されました。

出品総数は五百七十六点うち山古志村からは二十七点の出品が

あり紅白、三色など八点が入賞しました。

各部別入賞は次のとおり。

三部 準優勝一席

五色星野要一

四部 優勝

優勝

五部 準優勝一席

紅白松井福松

三色高野達治

六部 準優勝一席

紅白五十嵐幸作

三色星野達雄

優勝

三色佐藤昭司

県知事賞

紅白星野長松

準優勝一席

三色高野達治

準優勝一席

紅白松井福松

もつと木を植えよう

山古志村の基幹産業は稲作に加えて錦鯉、畜産がありこれらはますます振興しなければなりません。しかし遊んでる土地の有効利用それに財産形成等の面から考えて植林も真剣に考えなくてはならないと思います。村内には雑木林があちこちに見られますが、これらは財産的価値がほとんどありません。しかしこれらを杉や桐、果樹園等に変えてゆけば年々その価値が増大し、将来貴重な財産になります。実用したり売却できるようなるまでには長い年月がかかりますが、ほ



植林する高野明雄さん

とんどの家には植林できる土地が10アールや20アールはあるはずですから、長い目でみてできる範囲で少しづつ、でも植林することが大切だと思います。木を育てるには雪害という大きな障害があります。これは枝打ちや傾斜地は階段状にして植えることによってある程度までは克服できると思います。今までの植林の大部分は中年層以上の人達によって行われていますが、今後は若い人も植林の重要性を再認識して積極的に取り組むことが大切ではないでしょうか。

(産業課)

本年植林を

された人
(上位十一名)

向田 高野 明雄	杉 1,500本	桐 60本
梶 金 五十嵐正夫	杉 400	
間内平 高野新之丞	杉 200	桐 20
小松倉 小川甚四郎	杉 250	
梶 金 川上 進作	杉 250	
下村 高野 澄行	桐 100	
小松倉 高野 善計	杉 200	
小松倉 小川 清一	杉 200	
桂 谷 高野栄次郎	杉 200	
菖 蒲 星野 徳治	杉 200	
菖 蒲 星野 芳英	杉 200	



わたくしのコーナー

常日頃物置きに押し込めてしまふ品物はさまざま、暇になったら整理でも思っているうち、たちまちにしてぎやかになってしまう我が家の物置き。



ランドセル

虫亀 五十嵐ハツエ

今日こそ、いらなくなったものは思い切って捨て、しまおうと整理をしているうち、片隅のクギにかけておいた二つの赤いランドセルが目にとまった。ほこりをかぶり色あせたこのランドセルにも思い出がある。ランドセルの主人である二人の娘は今も中学生、背丈も私より大きくなり今日も祖母の「気を付けて行ってこい」の相変ら

そんな娘達のランドセルは二つとも親戚から戴いたものである。新人生の必需品をそろえて親子共々胸をふくらませて入学式の日を待った。そんな中で赤いランドセルが届いた時の娘の喜びようは格別。それからこのランドセルは六年間娘達と苦楽を共にした。でもこんな事もあった。

ある日突然手さげかばんにすると言い出した。理由は単純で友達と出かけられた。思い出をいっばいつめこんだこのランドセルももう二度と使うこともない。捨て、しまおうかと手に取ってはみたもの、捨てる気になれそうもない。迷っているうち両手でそつともとの位置にもどしていた。

時は茶の間にころがっていたランドセルも娘達の小学卒業と同時に物置きのク

スリップ事故に注意

冬の交通事故防止運動



スリップ事故の防止

昭和三十七年頃までは、積雪地域では完全に越冬をきめこみ、食糧のストックや山間僻地の学童、通勤者は学校や勤務地の近くに住居をかまえ、バス会社なども十二月になると「車洗」を称して車

を車庫に納め文字通り交通は途絶し、冬眠状態となったものです。ところが、除雪専用機械の開発導入で、雪国の生活も雪で中断されることなく、無雪時と同様の生活活動となっております。そこで、雪道での運転が問題となるわけです。

車のスリップを防ぐ運転方法

自動車は、タイヤの粘着力によって路面を蹴って走るものです。ところが、雪などのため左右のタイヤの粘着力にアンバランスが生じると、摩擦係数の低い路面では、どちらかのタイヤが路面をつかむ力(グリップ)を失ってスリップする。デフの原理から、片側がスリップ(空転)するとプロペラシャフトの回転は、抵抗のすくないスリップしている車輪ばかりをまわし、反対側の車輪は止ってしまふため自動車は走らなくなりまふ。

この原理から、スリップを防ぐ安全運転の要諦が、次の方法であります。

○自動車をコントロールできる速度

一般に雪道では一ノ三割ダウン運転と言われています。雪道では、タイヤと路面のグリップが失われているので、ブレーキを踏めばロック

され慣性でスキーのようになることは明らかであります。「ブレーキのない車」と思っ、速度をコントロールすることが必要であります。

○急ハンドルは厳禁

雪道ではタイヤと路面の間の摩擦が少なくなっているの、自動車はハンドルを切る直前の方向に滑走し、急ハンドルは全く無意味であることがわかります。

○雪道での安全運転

冬期間は、無雪道路となっても、急激に吹雪がやってき一面雪となる場面が応々にしてあります。驚いてチェーンを取りつけるため不用意に路上に駐車すること。これが事故や渋滞の原因となります。運転者のこういったちよつとした不注意が、交通途絶となりまふ。雪道では、特に

●転ばぬ先の杖が必ずあります。

道路に災害が

発生したときは...

モータリゼーションの急激な発達から、いったん道路に災害が発生した場合、大きな事故につながることにあります。このため、台風時の大雨や強風などにより、道路の決壊、落石等の危険な状態に

国民年金

年金手帳を大切にしましょう

いまわが国には、八つの公的年金制度がありますが、そのうち、社会保険庁では国民年金をはじめ厚生年金、船員保険の二つの年金制度を取り扱っています。

これらの年金制度に加入しますと、「年金手帳」が交付されます。以前、これら三つの制度は、それぞれ独自の被保険者証や年金手帳を交付していましたが、現在はこれらを一本化して、三つの制度共通の「年金手帳」になっていきます。

この年金手帳には、氏名・生年月日をはじめ加入年月日と記号番号が記入されています。また記号番号は、加入者の身分とも言うべきものですから、その

人の一生を通じて同一のものが使用され、その後における事務処理はすべてこの記号番号にもとづいて行われます。もし、同じ制度の記号番号を二つ以上持っている人は、

① 国民年金⇓住民課年金係へ
② 厚生年金⇓会社社務所へそれぞれ申し出て下さい。

二つ以上の記号番号や記録は、一つの正しい記号番号と加入期間に整理されます。また、年金手帳を紛失したり、汚したり、破つたりしたときもそのむねを申し出れば、年金手帳は再交付されます。

年金手帳は、将来、年金をうけるときに必要となるものですから大切に保存しましょう。

みんなで明るい お正月を

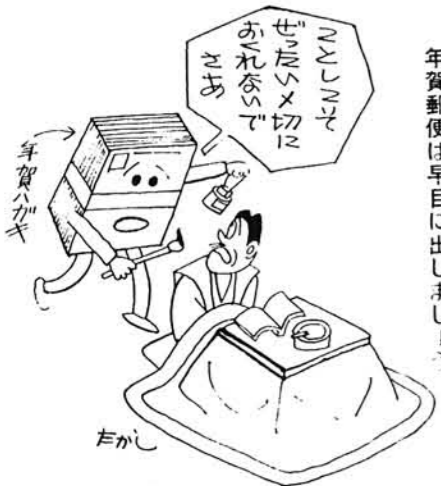
—— 歳末助け合い運動 ——

みんなで明るいお正月を……いま歳末助け合い運動が行われています。クリスマスやお正月をひかえて師走の寒空に気の毒なくらい送っている人たちがたくさんいます。身寄りのないお年寄り、生活に困っている人、暖い家庭を離れて長い療養生活をしている人……このような人たちにも、せめて明るいお正月を迎えよう、みんなで助け合いの手をさし合おう。

住民課

12月5日 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査 12月12日 参議院県選出補欠選挙

衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査が12月5日に、また参議院議員県選出議員補欠選挙が12月12日に行われます。金のかからない、きれいな選挙を目ざして、昨年公職選挙法の一部改正が行われてから始めての選挙です。私たちの代表としてふさわしい人を選ぶためには、候補者の経歴や政見をよく見たり聞いたりして、大切な一票を無駄のないようみんなで投票しましょう。



いつものことながら
年賀郵便は早目に出しましょう

県内の関係者が熱心に聴講

錦鯉養殖技術研修会

淡水区水産研究所能勢健嗣先生を講師に招いて、県主催の飼料対策を主とした錦鯉養殖技術研修会が去る11月9日山古志中学校にお



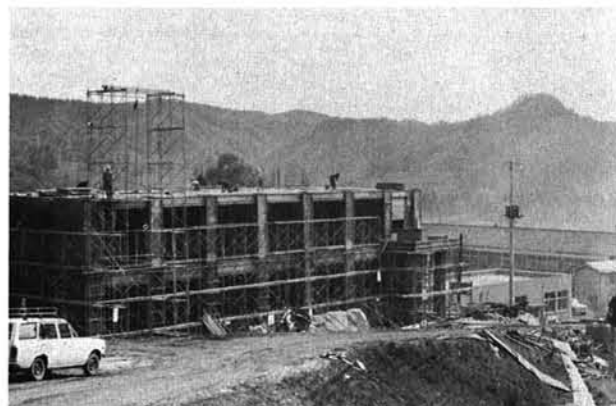
いて行なわれました。山古志の主要産業錦鯉も生産過剰、不況等による売行不振、その他病気等のいろいろな問題を抱えている現状のなかで参加された皆さんは終始熱心に研修し、質問者もつづくなど錦鯉生産の基礎として、飼育技術を再考するということが今回の研修会は意義が深かったと思います。当日は県内各方面からの関係者が多数出席され、村内からは越冬準備等の都合で比較的出席は少なかった事は残念でしたが錦鯉は山古志村で欠くことのできない産業でありますので、参加者からよく話を聞いて一層努力し、優秀品の生産に励んでいただきたいものです。

街を自然を美しく
吸いからの投げ捨てはやめましょう

Smokin Clean



虫亀小学校では去る21日校内もちつき大会が行われました。同校で昨年からはじめた、総合活動の実践で五年生3人で作ったもち米1斗5升をついたもので、全校三のかけ声に合わせて代表が次々ときねをふり上げていました。T Aの協力でおしるこや雑煮にした汗の結晶を全員で賞味、田打ちから収穫まで、始めてやった苦勞を紙芝居や感想文で発表し、楽しく意義あふ1日となりました



建設進む農業高校山古志分校
(11月7日撮影)

カメラスケッチ



賑わった高校祭 (11月7日撮影)

おぼろの村 (83)

二十村地名
起源考

佐々木 隆

前項の続

これから見れば、榑抜荘は古志郡の大部分で、南部にあたる地方はほとんどあった。公称、五十ヶ村、戸数二、五七七戸の記録であるが、筆者の計算によれば百戸多く二、六七七戸になる。岩野、釜ヶ島、犬茂島は三島郡の飛地で信濃川を越えて、古志郡側にあつた。釜ヶ島は河の中の島であつた。それが昭和三十年か、小千谷の旭橋が洪水のためにかたむいた事があつたが、その時人畜は別として島は全滅して今は一軒もない。白岩村は更に早く離村しその姿はなく、滝谷の内、山の口も廃村になつてゐる。天正の記録にない山古志郷に關牛などで身近に感ずる金倉山斜麓にあつた六日市村十二平も十二軒の戸数があつたものが、戦後は妙見に四軒、中濁に三軒、滝谷に三軒、六日市に一軒と離散して部落に残つてゐるのは唯一軒となつた。但し、明治二十三年三月市町村制が施行された際の榑抜荘管内の村落は六十一ヶ村、戸数は四、三三八戸に増加してゐた。以上が天正年間の榑抜荘の概略で消えてゆく、いろいろの記録を考へてここに示した。榑抜荘は、榑脱荘とも書くがこの文字の入つた慶長二年九月三十日の日付のある検地帳が、南河原のオヤジさんにある。題して「古志郡榑脱荘二比村検地帳」がそれだ、慶長二年といへば豊臣秀吉が二度目の朝鮮征伐に出陣し、加藤清正や浅野幸長が蔚山に籠城した年にあたる。検地帳は正保より古く山古志郷方面で見た検地帳としては、最古のものであるが立派に保管されてゐる。奉行は上杉景勝の家臣で、荒河係の地頭の役にあつた河村彦左右門という武士だつた。この武士は後に佐渡の金山奉行になつた。

里のこと
里は、サトと訓む。里は元正天皇靈龜の代に郷とされた事に既に述べたが、長い年月の流れにもかわらなず、里俗の間に里の言葉が細々ながらも残つてゐる。山村から町や平野部落に出掛けた際、「里へ出掛た」といふ、全国的だと思ふものには嫁などが生家に行くを「さとに行く」といふ。里は郷の前身だが。